

【トラブル】

製品には万全を期しておりますが、万が一うまく動かない等のトラブルがございましたら、まず次のチェックを行ってください。

1. パソコンまたはゲーム機に正しく接続されていますか？
2. アナログ・デジタル切替スイッチは正しく設定されていますか？
3. パソコン・MD切替スイッチは正しく設定されていますか？
4. チャンネル・シフト・スイッチがオンになっていませんか？
5. センター位置の調整は正しくできていますか？
6. ご使用のソフトはアナログ・コントローラー対応ですか？

これらのチェックでも異常が見つからなかった場合は、お手数ですが同梱のサポートカードに必要事項をお書きになって、当社までお送りください。保証期間内であれば、無料で修理いたします。

なお、保証期間外の修理や、保証期間内でもトラブルの原因がお客様のミスによるものであった場合は、修理費の請求をさせていただきますのでご了承ください。

【お問い合わせ先】

本商品に関するお問い合わせは、往復ハガキで下記までお願いします。なお電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

〒141

東京都品川区東五反田 1-11-15
(株)電波新聞社 マイコンソフト開発室

XE-1AP

アナログ・
ジョイパッド

取扱説明書

この度は、電波新聞社のアナログ・ジョイパッド「XE-1AP」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品を正しくご利用いただくために、この説明書をよくお読みください。

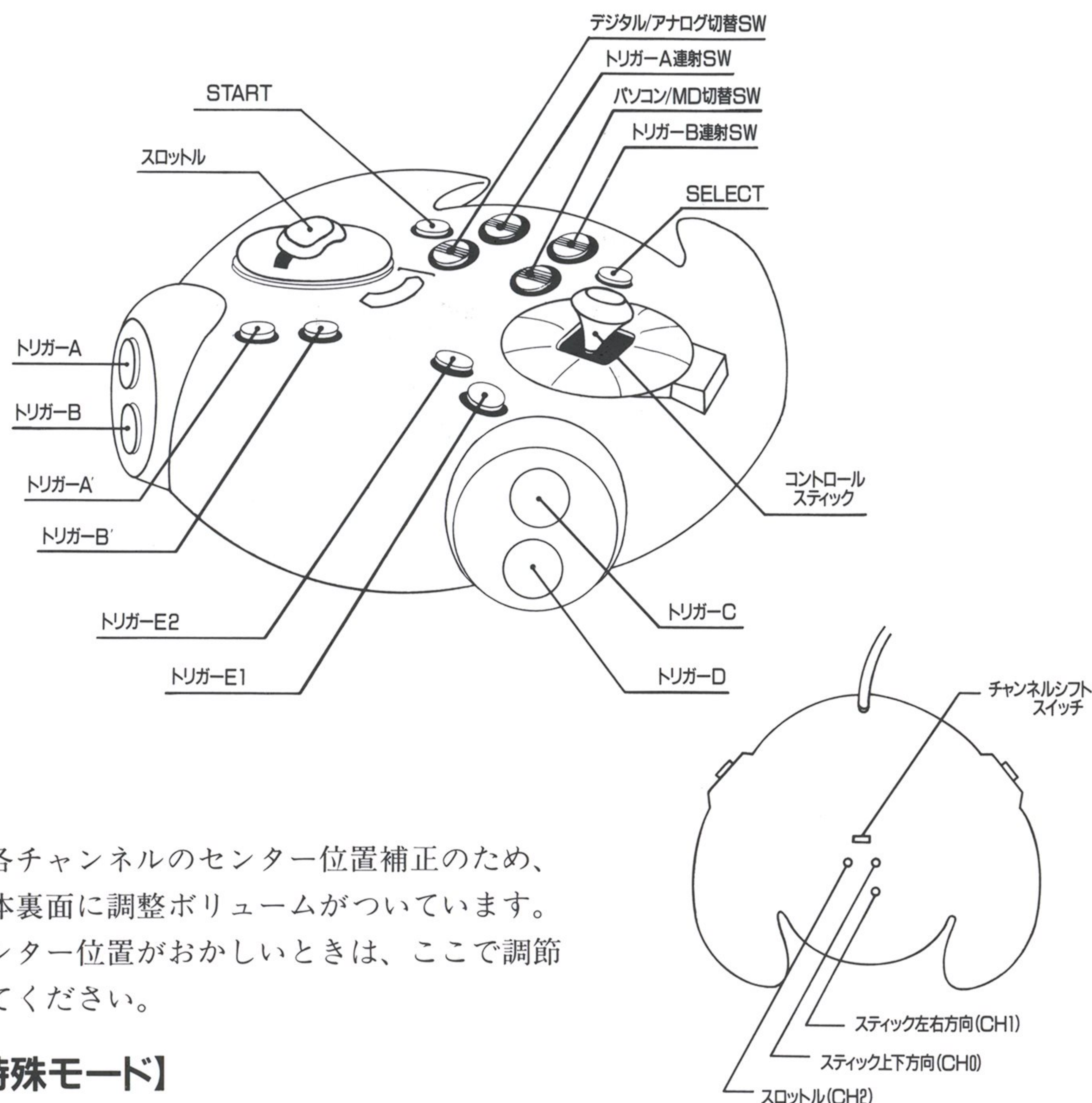
本機は、近年になってより高度化してきたパソコン・ゲーム、家庭用TVゲームに対応してより自由度の高い操作性を実現するため、連続的な値も扱えるようにしたアナログ・コントローラーです。

【特長】

1. 手のひらにぴったりフィットする斬新なフォルム、操作性を重視して配置されたトリガー及びスイッチ。
2. 前後左右を自由自在にコントロールできるスティックを装備。アナログ・モード、デジタル・モードの切替によって、アナログ・モードではX、Y各方向に8bit・256段階の変位量を、デジタル・モードでは従来のジョイスティックと同様に8方向、4bitのデータを出力。
3. アナログ方式のスロットル(前後方向のみ、8bit・256段階の変位量を出力)を装備。
4. スロットル・レバーの向きを270°回転可能。
5. アナログ/デジタルの出力切替可能。
6. A,B,C,D,E1,E2,A',B', 8種類のトリガー・ボタン+スタート、セレクト・ボタン。
7. トリガー・ボタンA、Bの連射機能。
8. インターフェースは9ピンDSUBコネクタ。アタリ仕様、メガドライブ仕様切替式。
9. 電源はコンピュータ、ゲーム機本体より供給されるDC5Vを使用。

対応機種：X68000シリーズ、MSX各機種、PC-8801シリーズ、PC-9801シリーズ
(アタリ仕様ジョイスティック・ポートがあるもの)
FM TOWNS、メガドライブ

【アナログ・ジョypad外観、各部名称】



各チャンネルのセンター位置補正のため、本体裏面に調整ボリュームがついています。センター位置がおかしいときは、ここで調節してください。

【特殊モード】

1. アナログ・データをセンター値(80H)からの変位量を2倍に変換して出力するモード

例えば、ノーマル・モードで82H(80H+2H)を示す変位量だと、このモードでは84H(80H+2H×2)となります。

このモードへ入るには以下のスイッチを押しながら電源を投入してください。

SELECT+トリガー A'	チャンネル 0,1 (スティックのデータ)
+トリガー B'	チャンネル 2 (スロットルのデータ)
+トリガー A'+B'	チャンネル 0,1,2 (両方のデータ)

2. スティック上下反転モード

トリガー Cを押しながら電源を投入すると、スティックの上下方向(チャンネル0)のデータを反転して出力させます。

※1.と2.は両立も可能です。

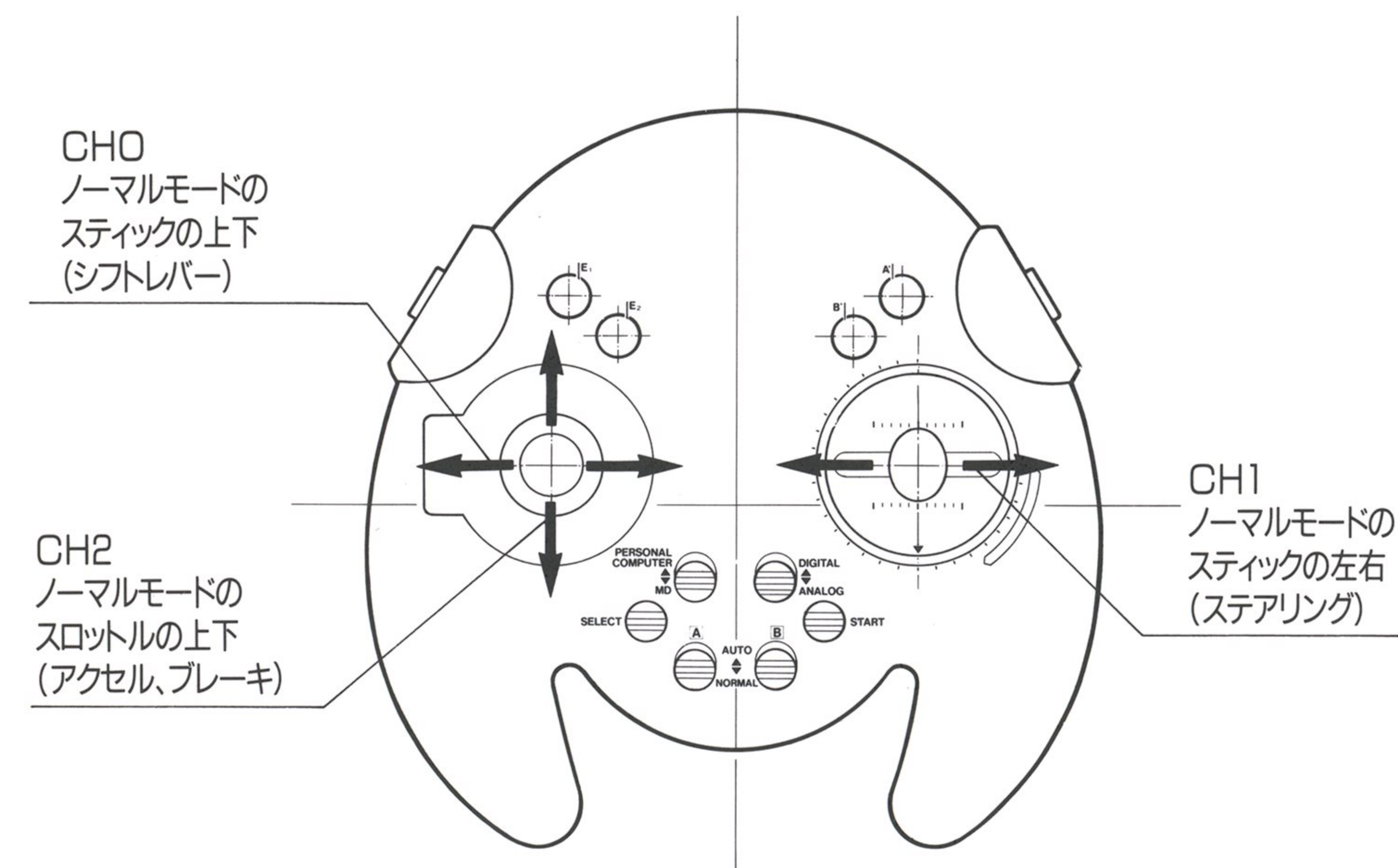
3. チャンネル・シフト・モード

本体裏面のスイッチによって出力データの割当を切り替えることができます。

スティック上下方向➡スティック左右方向
 スティック左右方向➡スロットル左右方向
 スロットル上下方向➡スティック上下方向

従って、操作は図のようになります。

これによって、「ドライビング・ゲームで右のスロットルを真横にしてステアリングとして使用する」などの利用法も可能になります。



【注意】

XE-1APは精密な電子機器です。ご使用になる時、次の事にご注意ください。

1. 落としたり、ぶついたりなど強い衝撃をくわえないでください。
2. 高温多湿など極端な条件下での使用はお避けください。
3. コネクターの脱着のために、接続コードをひっぱったりしないでください。
4. 分解、改造は絶対にしないでください。
5. スティック部分には強度の限界があります。必要以上の力を加えることは、故障の原因となりますので極力お避けください。